



令和 8 年度コミュニティ・スクールの取組がスタートしました

6 月 30 日(火)に第 1 回学校運営協議会を開催し、令和 8 年度北海道七飯養護学校・七飯養護学校おしま学園分校のコミュニティ・スクールの取組が始まりました。本校のコミュニティ・スクールの目的は次の二点です。

- 1 学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成させることにより、学校と地域が相互に連携・協働していくための基盤を育む。
- 2 地域との関係を構築し、地域の人材や資源を生かした学校づくりを行うことにより、本校の教育目標の達成に向けた教育活動の質の向上を図る。

両校の取組は今年で 5 年目となります。これまでの取組を大切に、コミュニティ・スクールの目的を達成できるよう、教育活動に活かしてまいります。

コミュニティ・スクールの活動は、昨年に引き続きコミュニティ・スクール通信「With」で広くお伝えします。

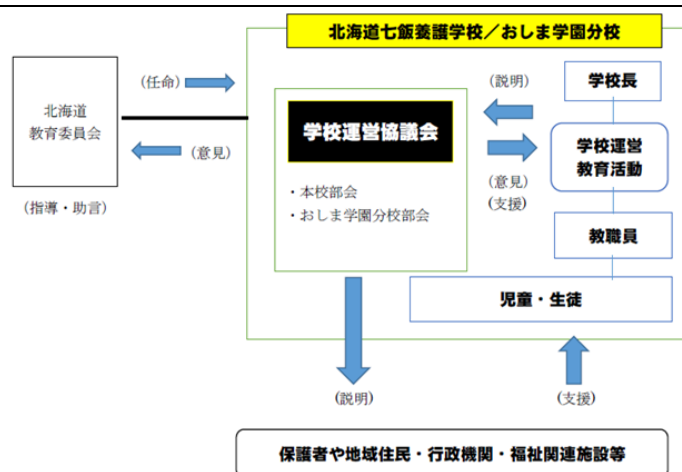
さて、令和 8 年度の学校運営協議会の組織は右図のとおりです。学校運営協議会委員は、昨年度から 3 名の方が新しい委員となりました。

委員の皆様には、七飯養護学校（以下、本校）部会若しくは七飯養護学校おしま学園分校（以下、分校）部会

に所属し、それぞれの学校の教育活動について、様々な立場から熟議し、地域との連携を深めながら充実した教育活動が実施できることを目指しています。今年度の委員の皆様は以下のとおりです。どうぞよろしくお願い致します。

<委員の皆様（敬称省略、部会別）>

氷 見 陽 市（本校部会）	七飯町社会福祉協議会法人運営課課長
稲 垣 明 美（本校部会）	七飯町商工会理事
山 岸 申 弥（本校部会）	七飯町校長会会長
田 中 慎 一（本校部会）	日本障害者・高齢者生活支援機構理事長
鎌 田 優 子（本校部会）	NPO法人みんなのサポーターわっとな管理責任者
藤 田 久美子（本校部会）	北海道七飯養護学校PTA（CS担当）
脇 康 幸（分校部会）	北斗市経済部観光課長
山 崎 久 記（分校部会）	北斗市教育委員会学校教育課長
金 子 久（分校部会）	石別ふれあう会会長
菅 原 力（分校部会）	石別ふれあう会副会長
中 野 伊知郎（分校部会）	社会福祉法人侑愛会おしま学園園長
加 藤 孝 治（分校部会）	北海道七飯養護学校おしま学園分校PTA会長
山 内 功	北海道七飯養護学校校長



第1回学校運営協議会の概要

今年度の会長として七飯町商工会理事 稲垣 明美 様が、副会長には侑愛会おしま学園園長 中野 伊知郎 様がそれぞれ選出されました。次に、令和8年度グランドデザインに関する説明、各学校のコミュニティ・スクールの活動の成果報告、渡島教育局教育支援課の松田主査の情報提供の後、各部会に分かれ、熟議を行いました。本校分校共に、今年度の熟議のテーマは「**ワクワクする学校、互恵的な学校**」です。

【本校部会の熟議】

本校の学校紹介では、昨年度までのコミュニティ・スクールの成果を振り返りました。

熟議では、本校職員に実施したアンケートをもとに、継続していく取組や地域への学習活動の紹介、地域との関わりについて、話し合われました。

①地域と七飯養護学校の互恵的な関係作り：七飯町内でのCSでの取り組みについての情報提供を受けて、単発のやり取りではなく、教育課程の中に学習を位置付け、生徒が地域の力になり、感謝を受け取る場面を意図的に創出していくこと。

②継続していく取組：今までのコミュニティ・スクールの成果を今後も地域と連携し、取り組んでいくこと。

③情報発信の強化：七飯養護学校がどのような取組を行っているのか、地域住民が見る機会を大事にしていく。

今年度から実施する「地域参観日(9月)」を先駆けとし、理解を深めるきっかけになるよう進めていく。

④地域との関わり：子どもたちの学習活動を充実させるため、七夕学習への笹の提供や、寄宿舎生を対象としていたユニバーサルスポート体験会の参加範囲の拡大の提案がありました。また、他校で実施されている取組を参考に地域の方との交流場面を増やすことや、納涼祭などの七飯町のイベントでの製品販売の体験など、子どもたちが「外」へ出る機会を増やし、地域活性化を目指すことなどの意見交流を行いました。



【分校部会の熟議】

分校部会では、CSの三つの柱について確認し、協働活動「Withプロジェクト」の目的を共有しました。「Withプロジェクト」は、一過性のイベントに留まらず、教育課程に位置付けを持つ継続的な取組として、地域の資源を「社会につながる学び」へと高めていくものです。

昨年度は、読み聞かせや作品展示、海浜清掃などの成果を上げました。一方で、クマ出没により清掃活動が中止となった反省を踏まえ、自然環境に左右されない「来校型活動」の推進や代替企画の検討が必要であると確認されました。これらをもとに、今後の方向性について話し合われました。

① 地域との接点の多様化と情報発信の強化

継続的な活動に加え、中学部で「プランター設置」を新たに実施し、対面に留まらない地域貢献を築いていく。また、多様な関わりを生むために全保護者へ参加を呼びかけ、学校の枠組みを越えた協力体制を目指していく。

② 安全で持続可能な協働活動の推進

地域の治安や自然環境の影響を考慮し、地域の方を学校に招く「来校型活動」の推進や、活動中止時の代替企画をあらかじめ想定し、計画的に教育課程に位置付けていくこと。

③ 温かい協力体制と地域資源の活用

分校を「地域の大切な仲間」として温かく受け入れてくださる雰囲気の中、各委員から具体的な支援体制の例や、さらなる社会資源の活用について、大変活発な提案や意見交換が行われました。



各部会の熟議では、様々な意見を出していただき、大変有意義な熟議となりました。今回の熟議で話されたことを基に、今年度のコミュニティ・スクールの取組を充実させていきます。学校運営協議会委員の皆様、お忙しい中、御参集いただきありがとうございました。

本校・分校の取組

【本校の取組】

今年度、高等部では1年をとおして「地域食堂ちえのわ」との交流学習を全学年で行います。6月下旬に3年生が学習を行いました。

昨年度から始まった「地域食堂ちえのわ」との学習で、今年度は地域食堂からお話を聞いて依頼を受け、季節に応じた装飾や食券の作成などに取り組みます。できた飾りを渡す際には、生徒から「織姫と彦星にしました。」「5mの輪飾りができました。」と、自分の工夫や頑張りを進んで伝えようとする姿が見られました。



また、小学部では、七飯町商工会女性部が7月7日の七夕に来校し、高学年児童との交流を行いました。本校の視聴覚室で実施し、「竹に短冊、七夕まつり〜♪」と児童が歌い、商工会女性部からお菓子を受け取りました。たくさんのお菓子を受け取り、児童たちも「ありがとう！」と笑顔を返していました。

今後の活動として、小学部児童を対象に絵本の読み聞かせを実施します。また、七養☆アート展は、11月10日（火）～11月27日（金）に展示

を行います。開催期間中に、高等部生徒による製品販売会に実施予定です。熟議でいただいた意見を踏まえ、学校と地域がチームになって取り組めることについて、校内で検討中です。地域住民の皆様の温かい御理解と御協力をお願いいたします。



【おしま学園分校の取組】

5月23日（土）の四者合同石別ふれあい大運動会に、小中学部の児童生徒が参加しました。今年で3年目の参加になりますが、児童生徒の参加の仕方を工夫しながら、最後まで取り組むことができました。

今年度も、より地域の皆様との交流を広げる参加の仕方について、石別小学校や石別中学校、地域の皆様と協議を重ね、当日を迎え、分校独自のルールや用具を使用することの御配慮をいただき、場を共有して一緒に競技することができました。

また、昨年度から新種目として取り組んだ「だるまりレー」は、慣れた様子で石別小学校や石別中学校のみなさんとペアになり、台座に乗せただるまを落とさないように協力してリレーをしていく競技を行うことができました。

運動会当日は、保護者の皆様を始め、来場された多くの皆様の盛大な拍手や応援の中で「いか踊り」も見ていただき、地域の皆様と楽しく交流することができたと同時に、学習の成果を披露することのできる貴重な場となりました。児童生徒が安心して、のびのびと参加することができたことに、多くの方々の御理解と御尽力を賜りましたことと深く感謝いたします。次年度に向けて、地域の皆様と交流できるよう、また児童生徒が参加しやすい参加方法を検討していきたいと思ひます。

今後とも応援よろしくお願ひいたします。

